

## 岐阜県立東濃実業高等学校

学 校 長 亀山 芳久

学校住所 可児郡御嵩町伏見 8 9 1 電話 0574-67-0504

- 1 会議の名称 平成 2 1 年度岐阜県立東濃実業高等学校 学校評議員会 (第 1 回)
- 2 会議の構成 評議員 藤岡 正迪 可児工業団地共同組合専務理事 (企業関係)  
西田由美子 豊和機工株式会社 (関係機関関係)  
野中三津夫 元本校 PTA 会長 (地域住民代表)  
伊藤 和子 国際ソロプチミスト可児会員 (地域住民代表)  
奥村千恵子 御嵩町青少年育成推進委員 (地域住民代表)

学校側	亀山 芳久	校長
	大月 龍郎	教頭
	谷貝 眞	教頭
	竹内 孝成	事務長
	水野 圭三	教諭 (教務主任)
	中嶋 伸吾	教諭 (生徒指導主事)
	渡辺 克人	教諭 (進路指導主事)
	相川 長徳	教諭 (商業科主任)
	林 智子	教諭 (生活文化科主任)

- 3 会議の目的 学校運営等について、地域住民や企業関係者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成 2 1 年 6 月 8 日 (月) 午後 2 時 3 0 分 ~ 午後 4 時  
委員 5 名と学校側 9 人が出席

## 5 会議の概要

### (1) 平成21年度指導の重点等について

教育の重点について

学習指導について

生徒指導について

進路指導について

専門教育について

- 意見 1 生徒の居住地はどうなっているのか。自分の地域から、東濃実業の生徒がどれくらい学校に通っているのか知りたい。これから、いろいろなところで生徒の様子を見ていきたい。
- 意見 2 「あずさカード」の取り扱いはどうなっているのか。生徒の良さを認め、励ましていく生徒指導のあり方はとても大切なことである。良いことをした生徒をきちんと誉め、認めることで、生徒もその良さを感じることができる。できるだけ多くのカードを発行できるようにしていきたい。
- 意見 3 就職難である。各企業の売り上げも減り厳しい現状である。先が見えない、この時期に、就職を希望する生徒に対しての進路指導は大変だと思う。
- 意見 4 特に工作機械関係の企業への就職は難しい。本校の生徒は、即戦力としての実績もあり、企業側からの信望もある。ある程度の規模の会社からは、求人希望してくるところもあるのではないだろうか。
- 意見 5 「子どもを不幸にしたければ、何でも言うことを聞いてやること」という言葉がある。学校教育とは、「生きる力」を育成させることである。どんな場面に直面しても力強く生き抜く力を付けさせてほしい。
- 意見 6 問題行動を抱えている学校に共通して言えることは、「うるおいのない学校」であるということである。「花がない」「生き物がいない」など、殺伐とした環境の中では、心の教育はできない。  
本校は、玄関先に花があり、ゴミなども落ちていない。心を育てる環境づくりがなされている。こうした環境の中で、力強く生き抜く力を育てる教育をしてほしい。
- 意見 6 昨今は、不審者情報が数多く入っている。下校時など、できるだけ複数で帰る等の指導をお願いしたい。学校周辺で、生徒のたまり場になっているところはなく、問題行動も見受けられない。過去には、外に出ると、スカートの裾を折り曲げ、短くしようとする生徒もいたが、現在は、学校の外でも服装が整っている。継続的な身だしなみ指導の結果であると思う。

## 6 会議のまとめ

### 会議の運営について

- ・配布資料
  - ・本年度の各分掌の指導の方針と重点
  - ・生活文化科の4類型紹介冊子
  - ・学校要覧
- 
- ・司会 大月 龍郎 教頭
  - ・記録 谷貝 眞 教頭

### (1) 開会のことば

### (2) 学校評議員の委嘱

### (3) 校長あいさつ

21年度スタートにあたって

望む生徒の姿について

- ・成長するには志(目標)を持つこと
- ・絶えず努力すること
- ・素直な心で生活する

重点指導について

- ・「東実生の実践目標」5項目の継続
- ・ひとり立ち(自立)できる心身の育成

教師としての心得

- ・情熱、指導技術、専門性をもった教師。

### (4) 平成21年度の本校教育の重点

### (5) 意見交換

### (6) 連絡事項

- ・次回開催日 11月上旬

### (7) 閉会のことば